

おさかな瓦版 No.125 メカジキ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究・教育機構 公開日: 2025-06-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 水産研究・教育機構 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014628

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.





おさかな瓦版

No. **125**

2025.6



メカジキ

うみ
～海のスプリンター～



ふーちゃんのトピックス

ブレインヒーティングってなに?!

つめ うみ い め のうりょく
～冷たい海で生き抜く能力～



メカジキ

～海のプリンター～



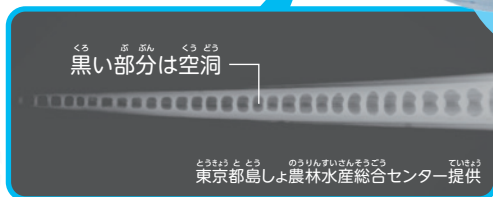
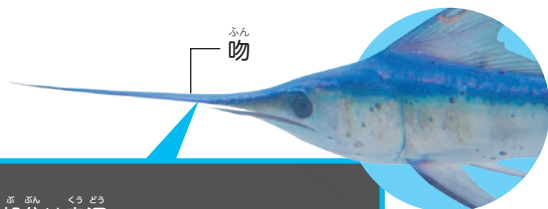
🐟1 メカジキ

メカジキはどんな魚？

世界中の暖かい亜熱帯の海や、日本のように四季のある温帯の海にすんでいて、広い海を季節ごとに移動する「回遊魚」です。全長は3メートル以上、重さは400キロを超えることもあります(🐟1)。

頭の先に「吻」という、長くてまっすぐな「つの」のようなものがあります。速く泳げるように水の流れを良くし、エサを取るときにも役立ちます。メカジキの吻は空洞になっていて(🐟2)、一部の研究では、吻を軽くすることで、魚をとりやすくしているといわれています。

赤ちゃんはとても小さく、全長数ミリほどですが、すでに頭の先がとがっていて、成長すると長く伸びて吻になります(🐟3)。



🐟2 メカジキの吻(レントゲン写真)



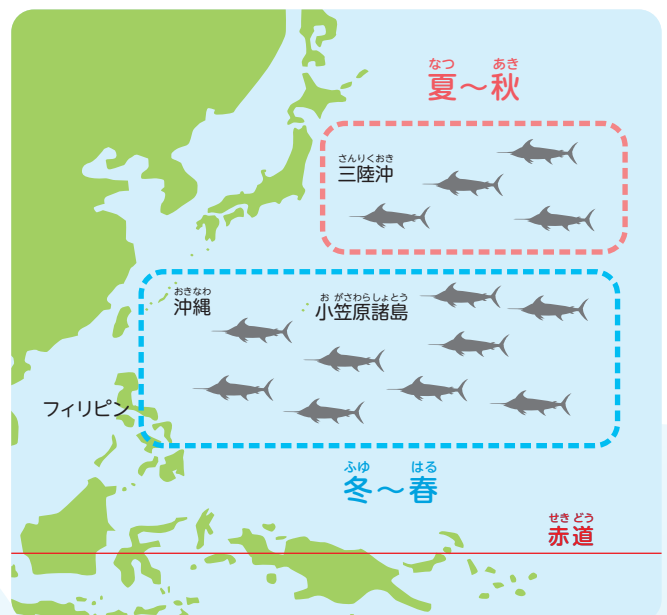
🐟3 メカジキの赤ちゃん(約2センチ、ふ化後 約1か月ほど)

1年で1メートル以上成長し、3～4年で成魚になります。カジキの仲間の寿命はよくわかっていませんが、10年以上と考えられています。

昼は深海にいる!?

実は昼と夜で泳ぐ深さが変わります。昼は水深約500メートルの深海によくいますが、夜になると水深約100メートルの浅い場所に移動します。これはエサとなるイカや魚が夜になると浅い場所に集まるため、それを狙ってメカジキも移動するからです。

表面水温が25度くらいの暖かい海が好きなため、季節によって移動する個体が多いです。夏から秋は北の方(三陸沖)、冬から春は南の方(フィリピン・沖縄・小笠原諸島の近く)へ移動します(🐟4)。

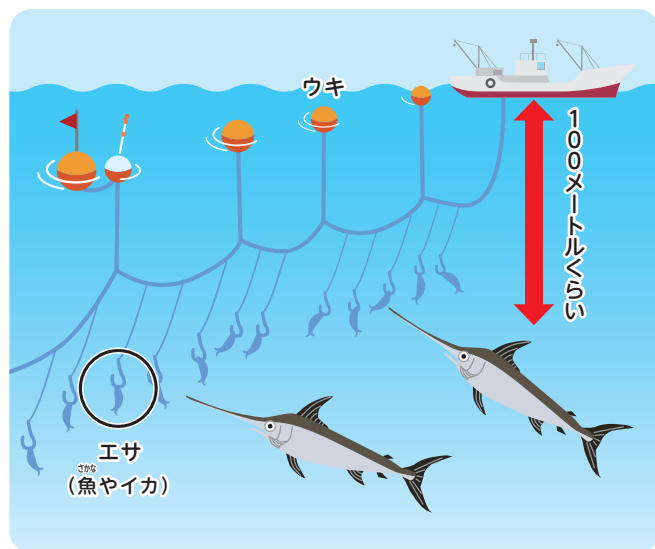


🐟4 日本に近い海での季節的な分布のイメージ

基本的に単独で泳ぐことが多く、マグロと違い群れを作りませんが、エサが多い場所では、何匹かで集まることもあります。

食べやすくおいしい魚

主に「はえ縄」という方法でとります(🐟5)。
長いロープにたくさんの釣り針と魚やイカなどのエサをつけて、夜間に水深100メートルくらいの深さに沈めます。時には、4,000本近い針を付け



🐟5 はえ縄漁業の仕組み



🐟6 メカジキのステーキ

ます。近年、日本は北太平洋で年間約4,000～6,000トンの水揚げがあります。

メカジキはステーキ、照り焼き、刺し身などでよく食べられます(🐟6)。

脂がのって、身が柔らかいのが特徴です。くせが少なく食べやすいので、大人にも子どもにも人気があります。しかし、最近は数が少なくなってきているともいわれていて、とり

すぎを防ぐためのルールを作り、海の環境を守る取り組みが進められています。



文: 甲斐 幹彦

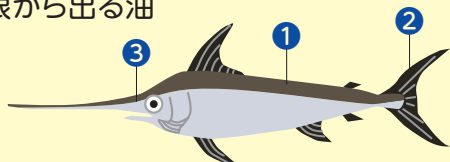
★ あんじいのワンポイントアドバイス



メカジキは時速100キロ以上のスピードで泳ぐこともあるといわれる、泳ぎが得意な魚じゃ。すばやく動いて魚やイカなどを捕まえて食べておるぞ。

こんなに早く泳げる秘密は3つじゃ。

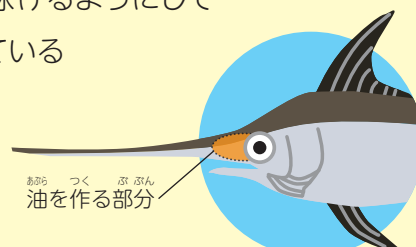
- ① 水の抵抗を少なくするなめらかな曲線の体
- ② 大きな尾びれ
- ③ 吻の付け根から出る油

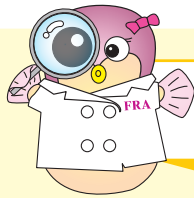


メカジキのマメ知識

今回は③について解説するぞ！

メカジキの頭の近くには油を作る部分があるのじゃ。泳ぐとき、この部分から油が出てきて、細い管を通して皮膚に広がるぞ。この油がメカジキの頭の前に水をはじく層を作り、水の抵抗を減らして楽に泳げるようにしていると考えられているのじゃ。





ふーちゃんのトピックス

ブレインヒーティングってなに?!

～冷たい海で生き抜く能力～

メカジキやマグロには、脳や目の周りを温める「ブレインヒーティング」という仕組みがあります。目の後ろに熱を発生させる特別な筋肉をもち、その熱が血液を通じて脳や目に運ばれます。これにより、脳や目は周囲よりも10～15度ほど温かくなります。普通の魚は水温が低いと動きがにぶくなりますが、この仕組みにより脳や目がしっかり機能するため、冷たい深海でもエサを探したり、すばやく動いて狩りをしたりすることができます。

- 目がよく見える → エサを見つけやすい
- 脳の動きがにぶらない → すばやい反応で狩りが可能



温めることで
脳と目が本来の実力を発揮

小さな
小魚が
いるぞ!

深海の冷たい海水



ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です



アンケートの
お願い

おさかな瓦版をより良くするためにアンケートを実施しております。
アンケートへのご協力をお願いします。

https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=tzCltNwEI0mgLTqozK6SsuYag_J-CRHmbdoTaZU31VURJFAsUJDQzVaRVo5QVFVWDBQJUIKRIWMCQIQCN0PWcu&route=shorturl



あんじい仙人のもとで修行している研究員です

ふーちゃん ふつくん

ひょうし しゃしん
表紙の写真



海中を泳ぐメカジキ

おさかな瓦版 NO.125 (2025年6月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構
質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒221-8529 横浜市神奈川区新浦島町一丁目1番地25
GRC横浜ベイリサーチパーク 6階
TEL.045-277-0136 (広報課) FAX.045-277-0015
ウェブサイト <https://www.fra.go.jp/>

キッズページ

水産研究・教育機構 (FRA)

キッズページ <https://www.fra.go.jp/forkids/>



ふらっとらぼ

YouTube チャンネル!

ふらっとらぼ <https://www.youtube.com/@fralabo>



見てね!

リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。